



山梨県北杜市小淵沢町10122
0551(36)3826 ペンション風路

聖地まじもと50キロ

スペイン巡礼の道

2014 No.5

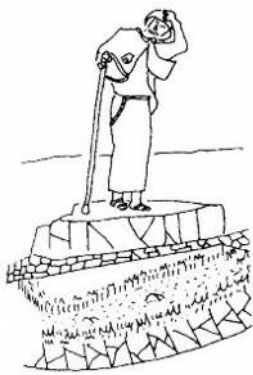
今年の冬は本当に寒かったです。山歩きはもちろん、散歩にも行かず家にこもっていることも多かったのでは(？)、一気にスペイン巡礼の道の報告を書きました。次回はいよいよ「コンポステラに到着」まで書けると思います？
気がつけば庭にフキノトウ。やっと春の気配と思ったら春分の日に30cmの積雪がありました。三寒四温です。今年は花の開花も早そうです。

オ・セブレイロ峠には巡礼路で一番古い教会があります。そこでスタンプをもらい、すぐ近くのおスタル泊。夕食は近くのバルへ。ここで初めてガリシア地方の郷土料理「カ

ルド・ガジエゴ」(じやがいもと野菜のスープ)を頂きました。とても寒かったので温かさが身に沁みました。

17日目 7月1日 21・3km
次の日の朝は霧雨の中。歩いて

いるうちにぐんぐん霧が晴れて、下の丘陵が見渡せるようになってきました。下つてまた上ったサン・ロケ峠には風で帽子を飛ばされないので、うに押さえている巡礼者像が立っています。



確かに風が強い。みんなここで記念写真を撮り合いました。次の宿はトリアカステー

ラ。三つの城という意味です。

おいしいパスタに感涙

18日目 7月2日 18・7km

きょうはサラリアまで。途中で道は2つに分かれます。もちろん短い方を行きます！こちらの道は途中の眺望も林の中の道も素晴らしいのですが、2キロ以上町はもちろんお店も無いとのこと。・・・その通りでした。途中、持っていたカップケーキと水で飢え(?)をしのぎ、がんばって歩き続けていると1軒のお店らしき建物。「カフェ? バル?」と尋ねるとそのようです。助かった!なんとここで出てきたスパゲティポロニヤ風。「はじめてスペインでおいしいパスタを食べた!」と大満足。このパスタパワーでなんとかサラリア着。アルベルゲの並ぶ通りの中の1軒に入り、今晚のベッドを確保した後、町へくりだし早目のディナー。イタリア国旗のレストランに入り、ピザとラザニアを注文。おいしいけど、ピザがデカ過ぎッ!少し残してしまいました。中国から来た若い夫婦に会い、情報交換。

初めてミサに参列

宿の近く、通り沿いのカテドラルで19時からミサがあるので教えてもらったので、行っ

てみました。お説教は全くわかりませんが、アーメンというところだけ唱和しました。賛美歌を歌う司教の素晴らしい声!心が洗われるようです。貴重な経験でした。

19日目 7月5日 22・4km

サラリアからコンポステラまで113キロ。巡礼証明書をもろうには100キロ以上歩かなければなりません。そのためサラリアから歩く人が多いとのこと。確かに!サラリアを出て鉄道の踏切。軌道がかなり広い。「列車が通るのを見たいね」と言っていたら「ゴー」という音とともにRENFÉのマークの列車が通過。ラッキー♪

これでカミーノ

森の中の山道に入りました。かなりの急坂です。登り口に数台の自転車が置いてあります。持ち主はどこへ行ったのかな?と一瞬思いつつ、坂道をハアハアゼイゼイと登っていくと前に集団がいます。近づいてみると、なんと大柄な男性の乗った車椅子(アウトドア用?)を大勢で引つ張ったり押したりしているのです。やっとその急坂を上り切ったところで、みんなで歓声を上げて拍手。私たちもちよっと離れたところから拍手。するとその中の半数が、今来た道を下っていきました。しばらく

甲州街道再び! 巻



今年20周年を迎え、甲州街道を再び歩こうとしました。10周年の時に歩いた日本橋から下諏訪まで歩くことになりました。10周年の時には私たちが総責任者。忙しくも充実の1年半でした。今回は1スタッフと参加するので気楽です。思えば、これが高じてスペインを歩くことになったのかもしれない。3月28日(水)から始まります。毎月1回全14回です。1月に私たちが担当する第5回目ですが、10年近く経つとかなり忘れていて新鮮な気持ちで歩いてきました。1回だけ参加もOK!大歓迎です!

追いついて行きました。登り口にあつた自転車はこの人たちのだったんだ・・・たまたま通りかかった自転車の一行が車椅子の急坂登攀を手伝ったようです。さすがカミーノです・・・
この先、この車椅子一行には何度か会いました。車椅子に乗っているお父さん、お母さん息子さん(中学生位?)とお父さんのお友達2名、と言ったメンバーです。「アイダホ」から来たとのこと。きつとサラリアから歩き始めたのだろうと聞くと、なんと「サンジアンから」二えくつもう700キロ近く車椅子で歩いてきたわけ?すごい・・・
あと100キロ!
ガリシア州に入ると、標識

気持ちの良い道が続きます。花々もきれい。きょうはがんばってポルトマリンまで。内陸にある街なのに「マリナ(海)?」と不思議におもっていました。近づくにつれて湖が見えてきました。町へは湖にかかる橋を渡っていきま

表から
国の若い二人や車椅子組など、顔見知りに出会い、うれしい。

海の物が増えてくる!

20日目 7月4日 12・8 km

ポルトマリンの次は25キロ先のパラス・デ・レイまで行く人がほとんどですが、私たちは無理をせず、途中のベントスデナロンまで13キロの予定。相変わらず人気者の三度笠。標識は残り80キロ。地元のテレビ局の取材らしく歩いている人に質問しています。私たちも片言英語で少々遅いお昼をきょうのアルベルゲのBARで頂きます。カラマリというイカのリング揚げがグッド!洗濯物を庭に干して、シエスタタイムの後、夕食もここで。他のテーブルの巡礼者が食べているハンバーガーらしきもの、注文してみました。ひき肉がしっかりとっていて久しぶりということもあり、美味しかったです!

21日目 7月5日 12 km

宿を出て間もなく、通りを掃除している紳士が、コーヒーはいかがですか?と誘ってくれました。ありがたく頂くことに。とても親切でゆっくり休むことができました。(歩き始めたばかりですが・・・)そこもアルベルゲでした。ポランテアで働く若者とオスピタレロと一緒に記念写真。

パラスレイのアルベルゲに着き、受付に並びます。紙のシートと枕カバーを渡されました。

へっ・・・ガリシア州はこんなのかな?ベッドを確保し、町へぐるりと回って、バルを探します。次の町、メリデはタコ料理で有名ですが、この町にもありました。タコはスペイン語で「プルポ」と言うようです。もちろんプルポと白と赤ワインを注文。イケます!

本降りの雨に足止め

22日目 7月6日 15 km

翌朝はこれまでにない位、本降りの雨。ちよつとビビりましたが、上下カッパを着て、意を決して出発。とは言ってもすぐ近くのバルまで・・・朝食を食べている間も弱まるきざしはありません。他の巡礼者もなかなか足を踏み出せないようでしたが、みんな諦めて?歩き出しました。行くしかない!幸い、2時間ほどで小降りになり午前中にはあがつてくれました。

メリデ最高!

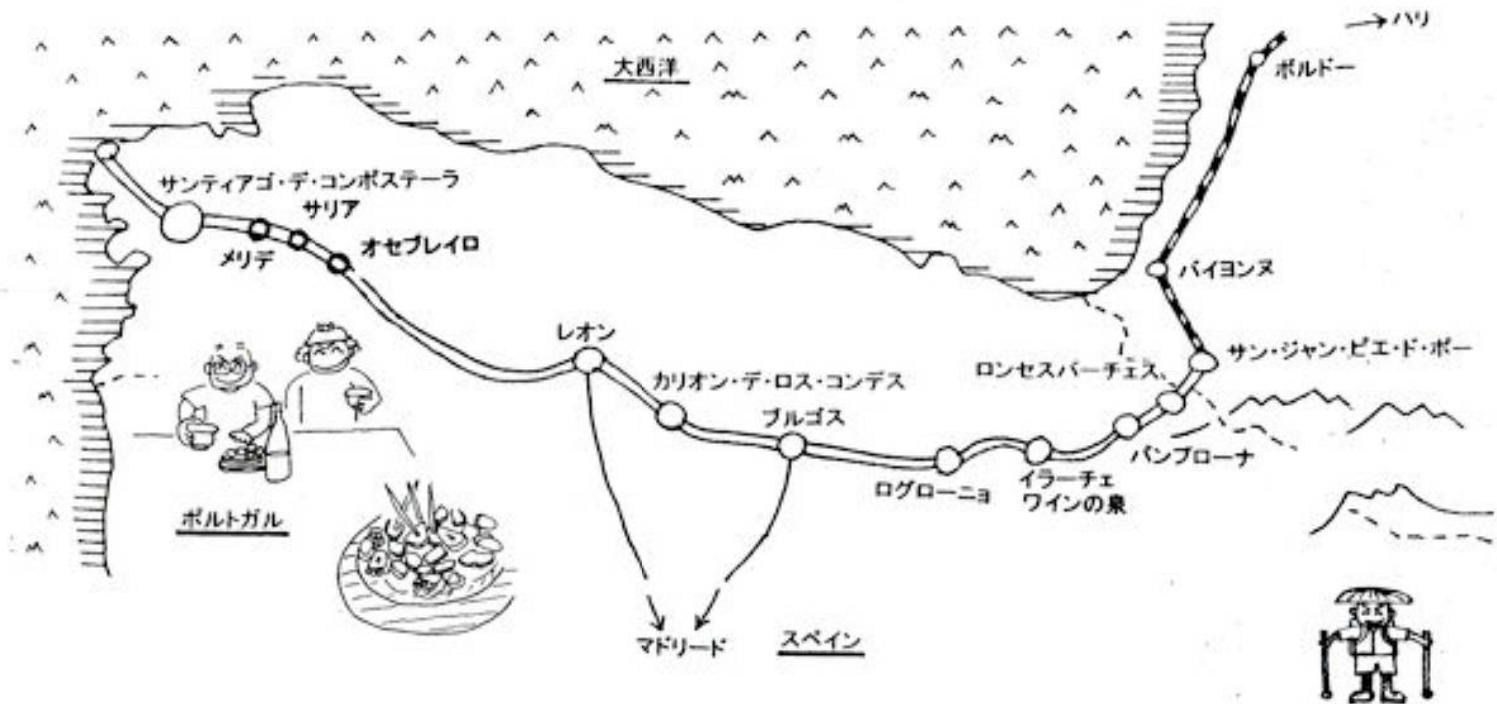
弾ける周平!



メリデの街に入ると、街の中心にある公園を目指しました。公園に行く途中、人だかりのレストランの前を通りました。入

口に大きな寸胴が2つグラグラ沸いていて、お店の人がその一つにタコを丸ごといれ、柔らかく煮えたタコを隣の寸胴に移し入れていきます。こちらの寸胴に

はどうやらこのお店の特性のスープが入っているらしい・・・。大勢の人たちがそれを買い求めに来ていたのです。ちよつどの日は街のお祭り



でした。公園に近づくポルリユームいっぱい音楽が聞こえてきました。「あれッ、賑やかに何かやってるよ」周平は早くも腰が浮いてしまっています。公園には大きな舞台が設営されていて、エレキギター、キーボードなどの演奏に交わって歌手がビートのきいた歌を踊りながら歌っています。三度笠にリュックスタイルですんずん中に進み、舞台にかぶりついてリズムをとっています。歌が終わると「ダンスタイム」。公園の椅子に腰掛けていた年配の紳士淑女が席を立って踊り始めました。

とても素敵ですッ!!

ふと見ると周平は三度笠とリュックのまま、年配の女性と踊っているではありませんか!

「次から次へと、婦人方が迫ってきて、たいへん・・・」とうれしい悲鳴?いつもは町に着くと疲労困憊。一刻も早く宿を決めてリュックを下ろしたい、というのに!

ダンスタイムが暫く続きそうだったので、私は今日の宿を見つけたら公園をはなれ、しばらく行ったところあったアルベルゲで宿の予約。公園に戻るとダンスタイムは終わっていて、そろそろ解散の時間のようにです。次に目指すはタコ料理!。街に入るときに通ったお店に行ってみました。中を覗いてみるとお客の姿は無く、十人位の

食事の用意ができていて、どうもお店の人の賄いの時間のようです。出てきたお店のセニョーラに「クローズ?」と尋ねました。「食事をしたのか?大きく領くと「OK!」。手際よくテーブルにグラス、スープ皿、ナイフとフォークをあつという間に並べてくれました。

運ばれてきたタコ料理は絶品!!柔らかく煮込まれたタコの足が一口大に切つてあつて、それが山盛りに木製の深いお皿に乗っています。それに、プリンカ?のような香辛料がふられているとてもシンプルな一品。

う、う、う、うまいッ!!この料理には白ワインだね、今までは「魚料理でも赤ワイン」の私たちでしたが、ここではさすがに白。なんと日本の湯のみのような陶器の器が出てきてびっくり!!確かにキリリと冷えた白ワインがタコ料理にピッタリ。

食事の様子をスマホで撮って、風路のブログに転送したところ、湯のみのような器で飲んでいる写真を見た知り合いから「あれッ?何時日本に帰ってきたの」とコメント。確かに「日本の居酒屋」です。

楽しいお祭りにおいしいタコ料理。すっかりメリデのファンになりました。

あと53キロ。(つづく)

